

住みよい郷土づくりの集い



講師の奥山学先生

令和6年2月17日(土)、『住みよい郷土づくりの集い』が令和2年2月以来、4年ぶりに開催されました。会場には80人を超える参加者が集い会場は熱気に包まれました。

第1部では、福地出身で秋田大学の医師である奥山学氏による講話が行われ、先般石川県で起った能登半島地震に災害派遣医療チーム(DMAT)としてご自身も現地に入り、そこでの被災状況や医療チームの活動の中で感じたことなどをリアルに聞くことができました。

「『年をとるといふこと』という演題では、年を取るに従い肉体は衰えるが強い精神力と知恵を得ることができるという、私たちがこれから生きていく上で前向きになれるようなお話をいただきました。また参加者の中には、奥山先生との知り合いも多くなおさら講話を興味深々と聞き入っていたようです。

第2部は女声合唱団『ゆりの樹』による合唱が披露され、コロナ禍で中々発表機会に恵まれず、それを晴らすような素晴らしい歌声でした。

懇親会では、普段会うことが少ない他集落の方々との話が弾み、親睦を深めながら盛会裏に終了となりました。



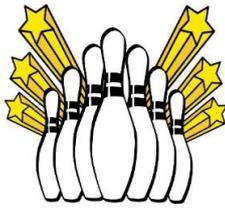
2/22(木) 第9回 西部三地域スマイルボウリング交流大会

横手市大森体育館を会場に、雄物川・大雄・大森の三地域合同のスマイルボウリング交流大会が開催されました。

32チームがエントリーする中、福地地区からは、7チームが出場しました。

残念ながら決勝トーナメントへの進出はなりませんでしたが、白熱したゲームを展開し他地域との交流を楽しみました。

このあと、雄物川大会や福地地区での大会があります。日頃の練習の成果を十分に発揮してくれることと思います。



地域の話

～雄物川保育園～

交流センターに隣接している、雄物川保育園は、昨年6月2日に鹿角市で行われた『秋田県保育研究会』において優秀な成績を収め、また7月13日～14日青森市での『北海道・東北ブロック保育研究会』でもその優秀な発表が高く評価されました。

結果、大分県で11月16日～17日に開催された『全国保育研究大会』に北海道・東北ブロック代表として出場し、地域連携による保育運営が高く認められ、保育の発展に貢献された功績に対し北海道・東北ブロック保育協議会から表彰されるなど、数々の栄誉を受けられました。おめでとうございます。

雄物川保育園さんとの連携による地域交流活動は、福地地区交流センターにとっては欠かせないものです。これからも益々私たち地区住民に癒しと元気をいただきたいものです。



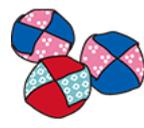
手芸作品展示します！

手芸の集いに参加している方々の作品を、ふくふく館玄関ホールにて展示予定です。

開館時間内であればいつでも観覧できます。素晴らしい作品の数々を是非ご覧ください。

なお、土曜・日曜・祝祭日は休館となりますのでご了承ください。

展示期間: 3/6(水)～3/25(月)まで



ホットタイム

住みよい郷土づくりの集いは大盛況でした。質問も時間が足りないほどでもっともっと聞いてみたいことがたくさんありましたね～。

災害派遣や日頃の業務など、お忙しい中貴重なお話をありがとうございました。これからも地元出身の奥山先生のご活躍を期待しております。